



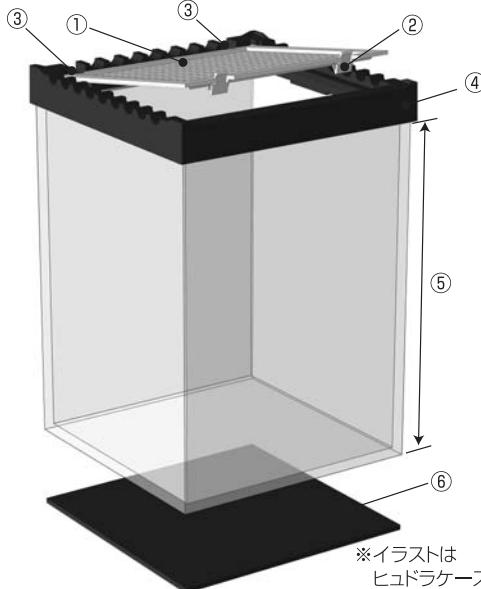
この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

- ◇本製品は爬虫類、両生類飼育用ケースです。この取扱説明書をよくお読みいただき安全にご使用ください。
 ◇本製品はガラス製です。物を当てたり、叩いたり、乱暴に扱ったりしないでください。

セット内容

ケース本体(クリアカバー付)、ウレタンマット

各部の名称と特長



- ①クリアカバー（開閉脱着式）
通気性と餌の隔離性を考えたクリアカバー
- ②ダブルロック
生体の脱走を防ぐ、ワンタッチロック
- ③コード穴
電源コードやエアホースなどの設置用
- ④上部枠
ケースの積み重ねも可能にした上部枠
- ⑤水張り部
水張り可能な4mm厚ガラスケース。(水位は必ず矢印の範囲内にしてください。)
- ⑥ウレタンマット
底ガラス保護のため、ケースの下に必ず敷いてください。

※イラストはヒュドラケース 1522 の例です。



警告 火災、感電、傷害事故などによる死亡または重傷を負う可能性が想定されるため必ず下記の警告事項をお守りください。

- ◇屋内の爬虫類、両生類の飼育以外の用途に絶対に使用しないでください。
- ◇分解や改造しないでください。
- ◇電気製品を使用している場合、メンテナンス時にケースに手を入れるときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電事故の原因になることがあります。
- ◇電気製品(オーディオ、テレビ、パソコンなど)の上や近くには、絶対に設置しないでください。
- ◇小さなお子様の手のとどく場所には設置しないでください。転倒などによるケガやケースの破損、火災や感電事故の原因になります。



注意 ケースの割れ、水漏れ、生体の死亡など傷害または物的損害が発生する可能性が想定されるため必ず下記の注意事項をお守りください。

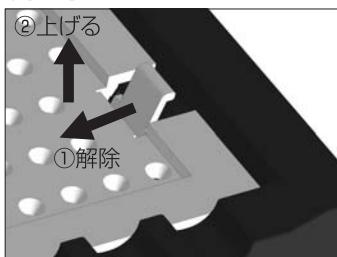
- ◇直射日光の当たる場所での使用は、絶対にしないでください。ケースが割れる原因や部品の早期劣化につながります。
- ◇狭い場所や、人通りの激しい所には、設置しないでください。物が当たると、ケースのガラスが割れことがあります。また、生体も落ち着きません。
- ◇水や砂利、岩などレイアウト用品が入った状態では、ケースを移動させないでください。ケースが変形して水漏れが発生したり、ガラスが割れる原因になります。
- ◇セットしたケースは非常に重くなりますので、傾いた台や強度の弱い棚などの上には設置しないでください。

ご使用方法

クリアカバーのロックは生体の脱走を防止するために必ず閉めてください!!

□クリアカバーの開け方と取り外し方

開け方



クリアカバーのロックを開けるには、ロック部を指で押しながら、上方へ上げます。

取り外し方

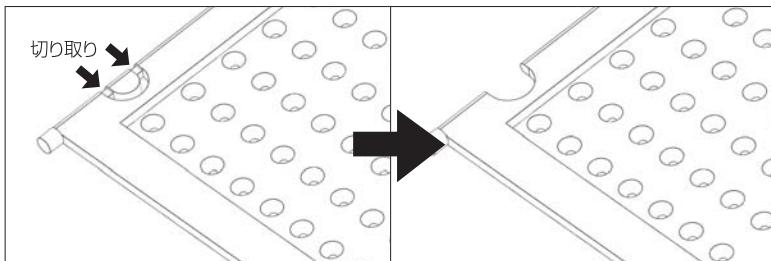


クリアカバーを開き、根元を上部枠の穴から抜いて取り外してください。

ご使用方法

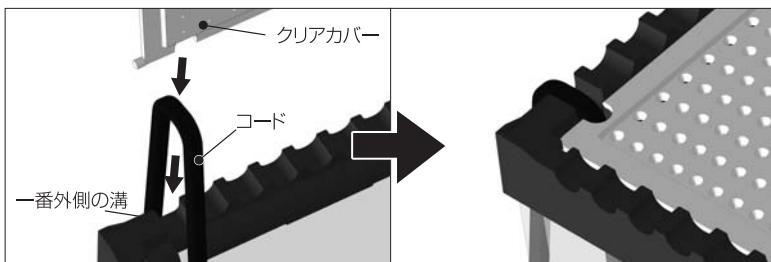
□コード穴(水中ポンプのコードやエアホースを通す時)

コード穴のあけ方



クリアカバーに2箇所設定されたコード穴は最初は塞がれています。ニッパーなどを使って図のように切り取り、穴をあけてください。

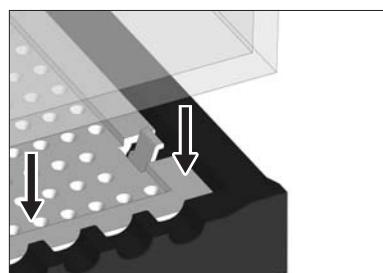
コード、エアホースの通し方



クリアカバーを取り外し、上枠背後の溝にコードやエアホースを掛けます。クリアカバーであけたコード穴にコードが通るようにクリアカバーを上枠に設置します。

※コードやエアホースを通す必要がなくなった際にコード穴から生体や餌が逃げ出すおそれがある場合は必要に応じて詰め物をする等して穴を塞いでください。

□ヒュドラケースの積み重ね



もう一台ヒュドラケースがあれば上に積み重ねることができます。(最大2台まで)
上枠のコーナーの内側に入るように、もう一台のケースを載せてください。

※電源コードやエアホースを設置している場合は挟まないよう気を付けて積み重ねてください。

※上に載せるケース内には、水張りや石、流木等重い物の配置を避け生体のみにしてください。

お手入れ時やその他の注意

- ・ケースを高いところから落とさないでください。破損の原因になります。
- ・ケースを掃除の際は、キズが付かないよう、やわらかい布などで水かぬるま湯で行ってください。
- ・ケースには、40°C以上のお湯を入れないでください。また、エアコンやストーブなどの冷暖房器具の近くには設置しないでください。シリコンの損傷やケースの変形による水漏れが発生したり、ケースが割れる原因になります。
- ・ケースのお手入れの際には、防水のためのシリコン塗布部をブラシなどで強くこすらないでください。シリコンの損傷による水漏れの原因になります。
- ・お手入れの際には、シンナーやベンジン、洗剤などの薬品を使用しないでください。ケース各部の損傷の原因になります。また、シンナーやベンジン、洗剤などの薬品は、本製品だけでなく、生体にも有害です。
- ・一度使用されたケースを長期間保管したのちに、再度使用される場合は、必ず水漏れや損傷がないか確認を行ってからご使用下さい。
- ・生体によってはごく稀にケースやシリコンをかじり取り、損傷を起こす場合があります。飼育生物の特性を販売店にて十分ご相談になってから、飼育するようにしてください。
- ・ケースのサイズは生体の大きさに合ったものを選び下さい。生体が大きくなり過ぎると暴れた拍子にケースが破損する場合があります。



生活を創造する

コトブキ工芸株式会社

■本社 〒632-0065 奈良県天理市武藏町511番

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。

All Right Reserved.Copyright © 2016 kotobuki kogei Co.,Ltd 130117③

お客様相談窓口 ☎0743-66-2777